

2022 年 6 月 9 日

女性の仕事探しの実態と課題

< 仕事探し当時の就業状況により、次の仕事決定に差 > 就業者は雇用形態や年齢にかかわらず約 5 割が決定 専業主婦の決定は 3 割未満

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）は、2021 年 12 月 22 日に発表した「求職者の動向・意識調査 2021」を基に、仕事探し時点の就業者（アルバイト・パート）と未就業者（専業主婦、無職・定年退職）の女性を比較して調査結果をまとめました。概要を以下の通りご案内します。詳細につきましてはレポート（https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20220609_2170.html）をご覧ください。

■ 解説



ジョブズリサーチ
センター長
宇佐川 邦子

コロナ禍で女性就業者の多いサービス業が特に打撃を受け、仕事を失った女性も多くいた中で、女性の就業支援はこれまで以上に重要性を増していると考えられます。本レポートは、仕事探しをしたにもかかわらず働けていない女性は何故働けていないのかを調査データを通して検討し、どのような対策が効果的か考察しました。

調査の結果、未就業の女性は、就業中の女性と比較して、「仕事は決まらなかったが（仕事探しを）終了した」と回答した方が多く、一度仕事を離れた人がブランクにより仕事探いを躊躇してしまったり、仕事へのキャッチアップを懸念して採用されにくくなっていることが推測されます。また、未就業の女性が仕事探しの時に困ったこととして、専業主婦では「育児や介護と両立できる仕事に限られる」、無職・定年退職では「自分にどのような仕事が合うのかわからない」との回答が多いことがわかりました。求職者が仕事を選ぶ際の優先順位付けの支援や、企業としてもブランクの有無に左右されることなく、求職者が持つスキルや適性を正しく判断することが重要だと考えられます。

■ 主な調査結果

1 仕事の決定状況

- 仕事探し時に就業していなかった人は、就業中だった人に比べて仕事が決まりにくい。専業主婦、無職・定年退職では年齢が上がると仕事が決まる割合が低下し、50 代以上では 2～3 割程度になるが、アルバイト・パートでは年齢が上がっても約半数の人は仕事が決まっております。仕事の決定状況には、現在の就業状況が影響している可能性がある。
- 仕事探し時に困ったことは、ほとんどの項目でアルバイト・パートよりも専業主婦、無職・定年退職の方が割合が高い。専業主婦は「育児や介護と両立できる仕事に限られる」(30.4%)、無職・定年退職は「自分にどのような仕事が合うのかわからない」(37.3%)との回答が多く、それぞれに合うサポートが必要だと考えられる。

2 仕事探しの実態

- 仕事を探した時に絶対条件だった項目を見ると、上位に挙がった勤務時間・勤務地と仕事内容に関する

2022 年 6 月 9 日

ほとんどの項目で、アルバイト・パートよりも専業主婦、無職・定年退職の方が割合が高い。給与などはアルバイト・パートよりも割合が低くなっているが、希望条件の優先順位付けが必要な場合もあり、支援が必要だと考えられる。

- 専業主婦と無職・定年退職の希望条件は、職種については事務希望が多い（専業主婦 43.5%、無職・定年退職 46.6%）。勤務日数・時間については、専業主婦では 3 日以下（35.7%）、4~6 時間未満（48.1%）など少ない日数・時間希望が多い。求人企業でも少ない日数・時間での勤務を可能にするなどの対応が望まれる。

■ 調査概要

	求職者の動向・意識調査 2021
調査目的	・ 労働市場における求職者の就業実態および意識を明らかにする ・ 未就業者の求職実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査
対象者条件	・ 全国 15~69 歳の男女 ・ 最近 1 年間に仕事探し経験あり（新卒以外） ・ 現在および仕事探し当時の職業が アルバイト・パート、正社員、契約社員、派遣社員、専業主婦/主夫、無職・定年退職 のいずれか
調査期間	2021 年 10 月 11 日（月）～10 月 15 日（金）
有効回答数	14,991 人（ウエイトバック集計） ※本レポートでは女性 9,018 人を分析対象とした

※ウエイトバック集計を行ったため、数表内の回答者数とその内訳の合計が合わないことがある。

※グラフと数表は、集計結果の小数点以下第 2 位を四捨五入して表示している。

■ 関連ページ

求職者の動向・意識調査 2021 基本報告書 https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20211222_1998.html

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにいる、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

2022 年 6 月 9 日

■ ピックアップ① 新たな仕事の決定状況

仕事探し当時に専業主婦と無職・定年退職だった人は、就業中の人に比べて「仕事が決まったので（仕事探しを）終了した」の割合が低く、「仕事は決まらなかったが終了した」の割合が高い。

		n=	終 了 事 業 決 定 した の で	終 了 事 業 決 定 し け だ け	継 続 中	(%)
女性・計		9,018	45.4	15.4	39.2	
(仕事探し当時)	正社員	2,069	47.3	12.7	40.0	
	契約社員	386	52.2	13.8	34.0	
	派遣社員	569	57.2	6.7	36.1	
	アルバイト・パート	3,387	53.0	11.2	35.9	
	専業主婦	1,745	26.9	29.1	44.0	
	無職・定年退職	863	37.6	17.3	45.1	

年齢別に見ると、就業中の場合は年齢が上がっても約半数の人は仕事が決まっているにもかかわらず、非就業の場合は年齢が上がるにつれてその割合が下がっている。

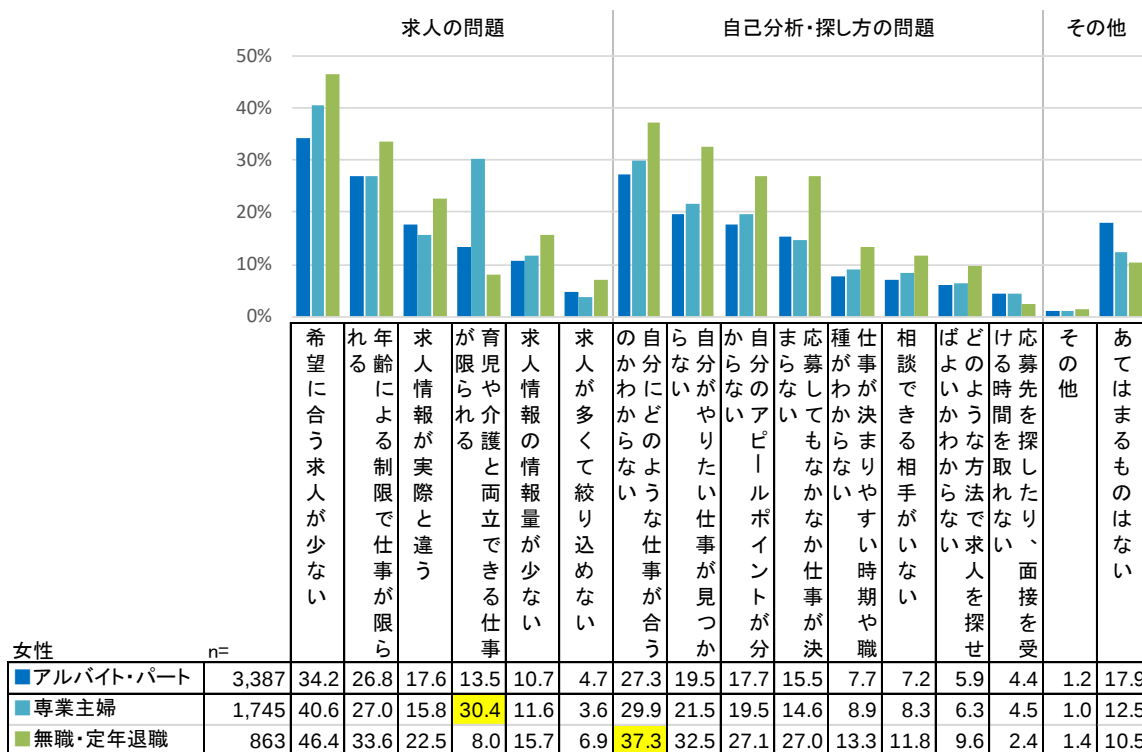
				n=	終 了 事 業 決 定 した の で	終 了 事 業 決 定 し け だ け	継 続 中
女性・職業別（仕事探し当時）	正社員	15-19歳		7	72.1	0.0	27.9
		20-29歳		676	51.3	14.5	34.2
		30-39歳		615	47.4	12.7	39.9
		40-49歳		463	44.6	10.8	44.6
		50-59歳		270	41.7	10.0	48.2
		60-69歳		38	43.8	23.0	33.2
	契約社員	15-19歳		0	0.0	0.0	0.0
		20-29歳		72	58.3	11.9	29.7
		30-39歳		70	67.3	7.2	25.5
		40-49歳		108	42.8	12.7	44.5
		50-59歳		91	47.2	16.5	36.3
		60-69歳		44	51.9	24.6	23.5
	派遣社員	15-19歳		2	50.0	0.0	50.0
		20-29歳		111	64.3	8.5	27.2
		30-39歳		109	53.9	5.4	40.7
		40-49歳		194	57.0	6.1	36.9
		50-59歳		122	54.8	6.4	38.8
		60-69歳		31	54.5	10.3	35.2
	アルバイト・パート	15-19歳		13	21.2	36.1	42.7
		20-29歳		460	59.0	10.0	31.0
		30-39歳		694	53.7	11.7	34.6
		40-49歳		1038	52.2	9.1	38.7
		50-59歳		783	48.8	10.9	40.4
		60-69歳		398	56.1	16.5	27.4
	専業主婦	15-19歳		0	0.0	0.0	0.0
		20-29歳		157	41.6	25.7	32.7
		30-39歳		470	32.9	29.4	37.6
		40-49歳		484	26.8	24.2	49.0
		50-59歳		377	19.3	25.2	55.5
		60-69歳		257	18.2	45.4	36.4
	無職・定年退職	15-19歳		6	16.2	16.9	66.9
		20-29歳		214	47.2	12.8	39.9
		30-39歳		140	44.0	16.9	39.1
		40-49歳		187	39.4	12.3	48.3
		50-59歳		172	28.1	17.3	54.7
		60-69歳		144	26.7	31.1	42.1

Q.最近1年間（2020年10月～2021年9月）に行った新卒以外での仕事探しはすでに終了していますか。（単一回答）【対象者：全員】※グレー網掛けは回答者数30未満

2022 年 6 月 9 日

■ ピックアップ② 仕事を探した時の困ったこと

ほとんどの項目でアルバイト・パートよりも専業主婦、無職・定年退職の方が割合が高い。専業主婦は「育児や介護と両立できる仕事に限られる」(30.4%)、無職・定年退職は「自分にどのような仕事合うのかわからない」(37.3%)との回答が多く、それぞれに合うサポートが必要だと考えられる。

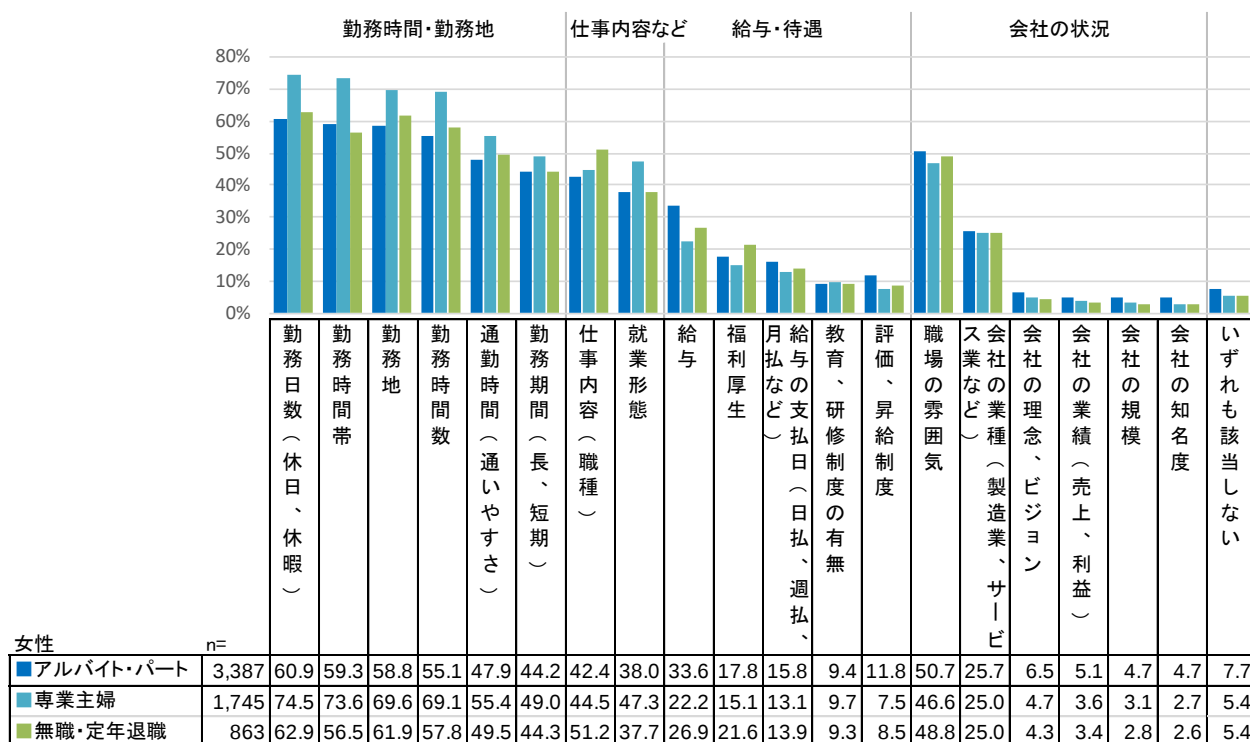


Q.仕事探しをしていた時に困ったことはありましたか。(複数回答)【対象者：全員】

2022 年 6 月 9 日

■ ピックアップ③ 仕事を探した時の重視点（絶対条件）

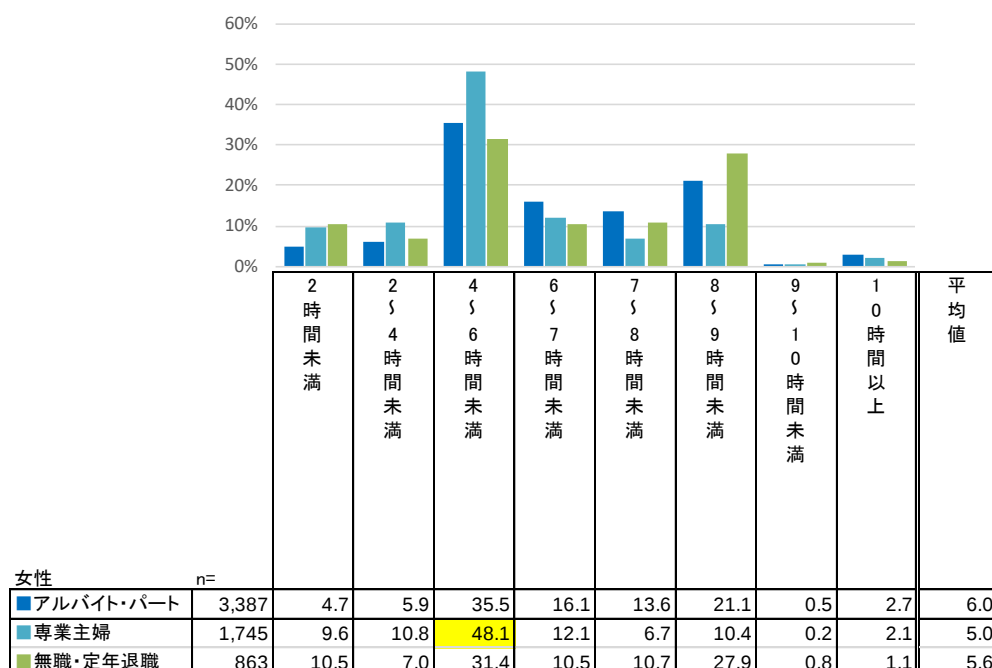
上位に挙げた勤務時間・勤務地と仕事内容に関するほとんどの項目で、アルバイト・パートよりも専業主婦、無職・定年退職の方が割合が高い。



Q.仕事を探していたとき、下記の項目について、どのくらい重視していましたか。（単一回答「絶対条件だった」「他の条件がよければ我慢した」「もともと関心がなかった」のうち、「絶対条件だった」を選択した人の割合）【対象者：全員】

■ ピックアップ④ 探した仕事の勤務時間（1日あたり）

専業主婦はアルバイト・パートよりも6時間未満を希望する割合が高く、少ない時間を希望する傾向がある。



Q.1日に何時間くらい働く仕事を探していましたか。（数値回答）【対象者：全員】